

第1回西尾市定住自立圏共生ビジョン懇談会 会議録

- ・日時：平成23年11月10日（木）15:00～16:30
- ・場所：西尾市役所4階 41 会議室
- ・出席：（委員）田中正規、尾崎隆爾、近藤博之、大河内正敏、颯田洪、伊藤貞幸、牧野明広、長島明広、田中義広、山本浩司（大岡宗弘委員の代理）、小川敦司（近藤博之委員に同行）
（事務局）岩瀬課長、鈴木主任主査、大内主事
- ・欠席：（委員）近藤照夫、杉田芳男、大岡宗弘

【敬称略】

1 あいさつ

- ・岩瀬課長からあいさつを行った。

2 西尾市定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱について

- ・西尾市定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱について、事務局から説明を行った。内容は資料1参照。

3 委員紹介

- ・事務局から委員紹介を行った。資料2参照。

4 正副座長の選出

- ・座長に大河内正敏委員（西尾市地域公共交通会議）、副座長に尾崎隆爾委員（図書館協議会）が選出された。
- ・大河内座長からのあいさつ概要は以下のとおり。
新・西尾市の魅力としては海、山、川、平野、歴史、文化があり、環境が良い地域。それぞれの長所を圏域の活性化にどのように活かしていくか、委員のみなさんからご意見を頂戴し、新しい西尾市のビジョンを作っていきたい。

5 説明事項

以下2項目について資料に基づき事務局から説明を行った。内容は資料参照。

- ・定住自立圏構想について（資料3、4）
- ・策定スケジュール（資料5）

6 協議事項

西尾市定住自立圏共生ビジョン案の第3章（P6～P11）を中心に、意見交換を行った。主な発言は、以下のとおり。

（P6 病院機能強化事業）

- ・病々連携、病診連携の意識を高めるための市民への啓蒙が必要。
- ・17万都市の市民病院に産婦人科がないことは問題。
- ・小児科・産婦人科の医師確保に力を入れていく必要がある。
- ・医師を大学医局に頼らず、公募していくべき。

(P7 休日診療所運営事業)

- ・休日診療所は時間延長の要望があるが、医師会の会員数が少ないため、対応が困難な状況。
- ・当初の予想より来院者が多く、スペースが手狭になっている。

(P8 図書館情報システム統合事業)

- ・設備増強も必要だが、本の好きなこどもを育てることが必要。
- ・市立図書館では本を並べるスペースが狭くなっているため、分館の整備を検討する必要がある。

(P9 名鉄西尾・蒲郡線対策事業)

- ・西尾・蒲郡線で通学している高校生たちの足をなくさないでほしい。
- ・名鉄は全体では黒字なのだから車両を改装するなど企業努力をしてほしい。
- ・車一辺倒から、電車を利用するような生活スタイルに変えていく必要がある。
- ・駅周辺の駐車場を整備することが必要。

(P10 地場産品 PR 事業)

- ・道の駅にしお岡ノ山は、駐車場が分かりにくい。駐車場の確保が必要。
- ・道の駅にしお岡ノ山にぐるりんバスの乗り入れをするべき。
- ・道の駅にしお岡ノ山以外にも市の南部で地域振興や地産地消関係の施設を整備し、西尾市へのお客さんを南下させるべき。
- ・各種関係団体の連携を推進し、イベントの統合を行う必要がある。

(P11 市民活動推進事業)

- ・市民活動の分野では、シニア世代以外にも、高校生等、若い世代の人材育成に力を入れ、愛郷心を育み、地元で根付いてもらえるよう努力するべき。
- ・市内の高校の連絡協議会を設置できるとよい。

(P11 職員研修)

- ・市職員は積極的に外に出て市民とのコミュニケーションを図るべき。庁内に閉じこもっていても能力は向上しない。

7 その他

- ・第2回会議を平成23年12月15日(木)午後3時に開催する。
- ・意見表(資料6)の提出を事務局から委員へ依頼した。